発行　平成１９年３月
研究レポート No.391　岩手県農業研究センター

岩手県オリジナルりんどう F_1 品種採種用親系統の組織培養による維持・増殖システム

【1　成果】

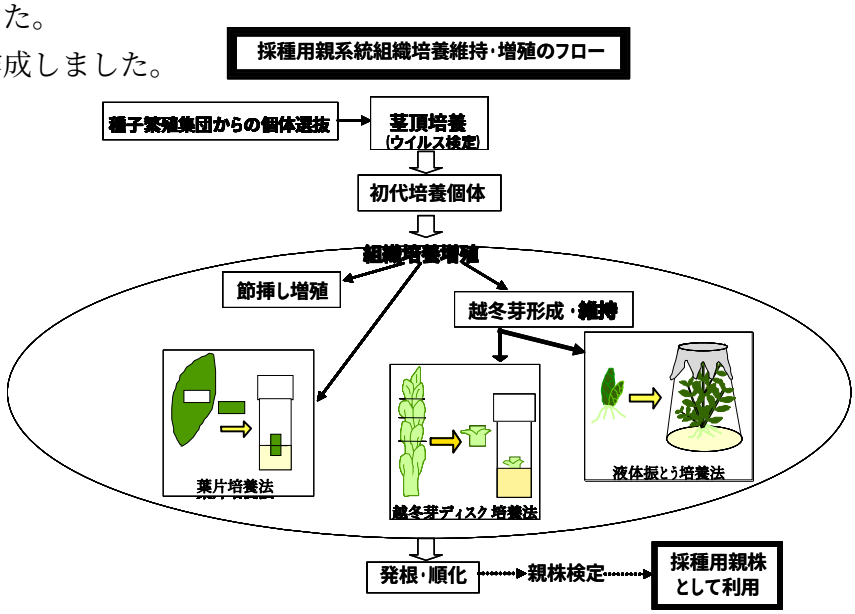
自殖劣性が強く、個体間でばらつきのある「えぞりんどう」の採種用親系統について、

(1) 系統毎の各種培養法の適用性を整理しました。

(2) 個体毎の増殖性を整理しました。

(3) 各種培養法のマニュアルを作成しました。

葉片培養増殖個体の生育（揃いが良い）



【2　効果】

本県オリジナルりんどう品種の親株の維持・増殖が効率的にできることにより、種苗の安定供給が可能となります。

【3　留意事項】

(1) 新規親系統や現在検討中の個体については、今後も引き続き検討していきます。

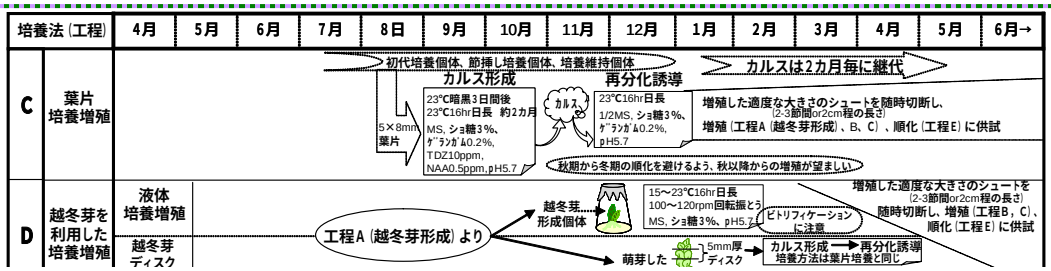
(2) 花芽形成の抑制や、越冬芽の効率的な形成法など、より効率的・安定的な維持・増殖法については、今後も研究を続けて参ります。

(3) マニュアルには、維持・増殖スケジュール、培養増殖適用表、各種培養法が記載されています。

(4) マニュアルは、ご希望に応じて配布も可能ですので、お気軽にお問い合わせ下さい。

【4　成果の対象者】

（社）岩手県農産物改良種苗センターなどりんどうの組織培養実施者



マニュアル中の維持・増殖スケジュール（抜粋）

担当研究室　農産部　応用生物工学研究室
〒024-0003　北上市成田２０－１　　TEL．0197-68-4414　FAX．0197-71-1081